

## 2.4. 位置特定方式の組合せ検討

「2.2.3. サービス種別毎の活用場面の整理」結果で示した活用場面に適用可能な位置特定技術の組合せについて検討した結果を図 2-3 およびに表 2-3 示す。

※) RTK-GPS, VRS の適用にあたっては、補正情報の遅延等の問題もあり、検証を行う必要がある。

※) CCD 方式については、対象地物への夜間照明が必要である。

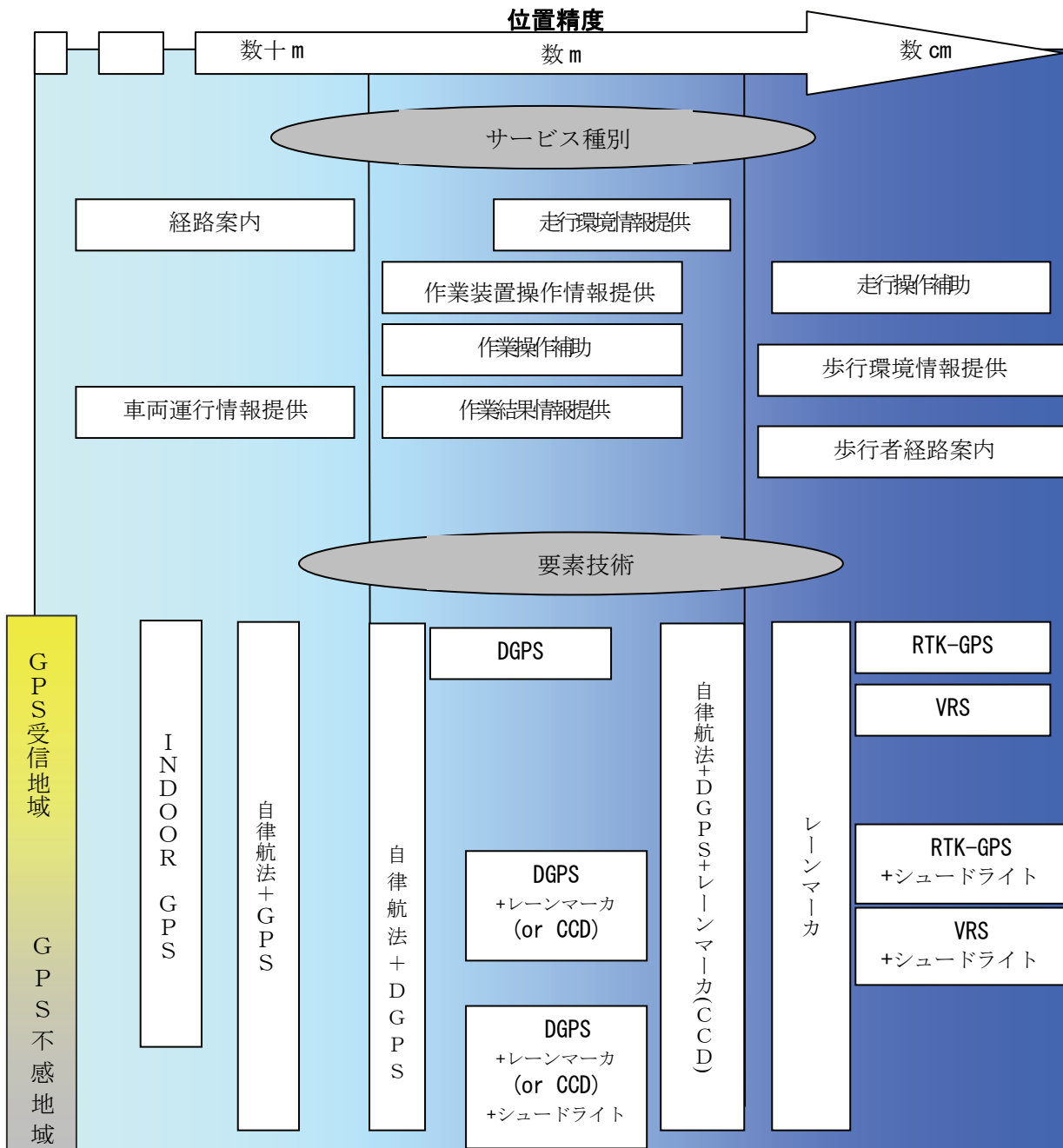


図 2-3 要求精度と位置精度

表 2-3 位置特定方式

サービス種別	要求精度	位置特定方式
走行環境情報提供	縦：10m 横：1m	<平地部> ○DGPS+レーンマーカ ○DGPS+CCD <市街部, 山間部> ○自律航法+DGPS+レーンマーカ ○自律航法+DGPS+ CCD <遮蔽物内> ○自律航法+レーンマーカ ○自律航法+ CCD
走行操作補助	縦：1m 横：数 cm	<平地部> ○RTK-GPS ○VRS(サービス地域) <市街部, 山間部> ○RTK-GPS+シュードライト ○VRS+シュードライト(サービス地域) <遮蔽物内> ○レーンマーカ
作業関連情報提供	縦：10m 横：数 m	<平地部> ○DGPS <市街部, 山間部> ○自律航法+DGPS <遮蔽物内> ○自律航法+レーンマーカ ○自律航法+ CCD
作業操作補助	縦：10m 横：数 m	<平地部> ○DGPS <市街部, 山間部> ○自律航法+DGPS <遮蔽物内> ○自律航法+レーンマーカ ○自律航法+ CCD
作業内容把握	縦：10m 横：数 m	<平地部> ○DGPS <市街部, 山間部> ○自律航法+DGPS <遮蔽物内> ○自律航法+レーンマーカ ○自律航法+ CCD
歩行環境情報提供	10cm 程度	<市街部> ○RTK-GPS+シュードライト ○VRS+シュードライト(サービス地域)
歩行者経路案内	25cm 程度	